



令和2年7月22日

八代河川国道事務所

令和2年7月豪雨により、流失した^{にし ぜ}西瀬橋の
仮橋設置のため現地着手
～九州技術事務所が保有する仮橋を活用～

- 令和2年7月豪雨により、主要地方道^{ひとよしみなまた}人吉水俣線^{にし ぜ}の西瀬橋については、一部橋桁の流失等により、7月4日から全面通行止めとなっているところです。
- これまで、橋梁の専門家やTEC-FORCE等による被災状況や健全度調査結果をもとに復旧工法の検討を行い、準備が整った^{にし ぜ}西瀬橋の流失した橋桁を、九州技術事務所が保有する仮橋で復旧する工事に、7月23日から現地着手します。
- 引き続き、一日も早い復旧に向け、全力で取り組んでまいります。

問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

技術副所長

^{いまざと}今里 ^{ひでみ}英美

TEL：0965-32-4135

FAX：0965-32-7551

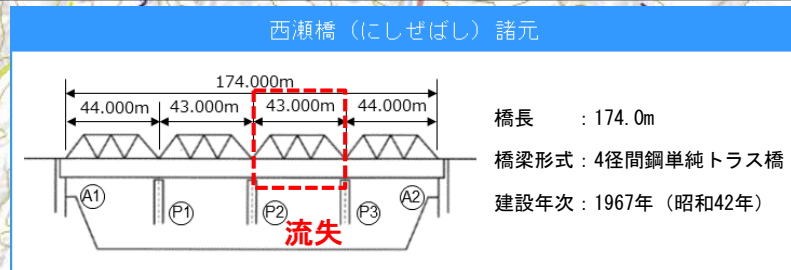
主要地方道 ひとよしみなまたにしぜ 西瀬橋(熊本県人吉市上薩摩瀬町) 被災状況



＜被災状況概要＞

- 上部工:P2~P3間 約43m流失
- 下部工:A2側護岸流失

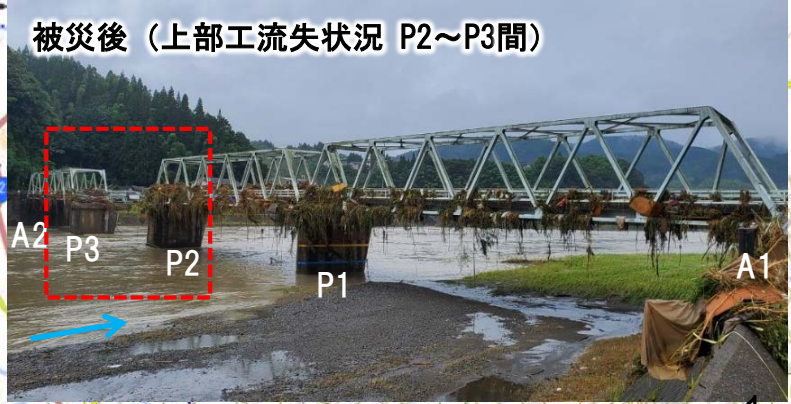
ひとよしみなまた
(主) 人吉水俣線
にしぜ
西瀬橋 橋梁流失



至八代市

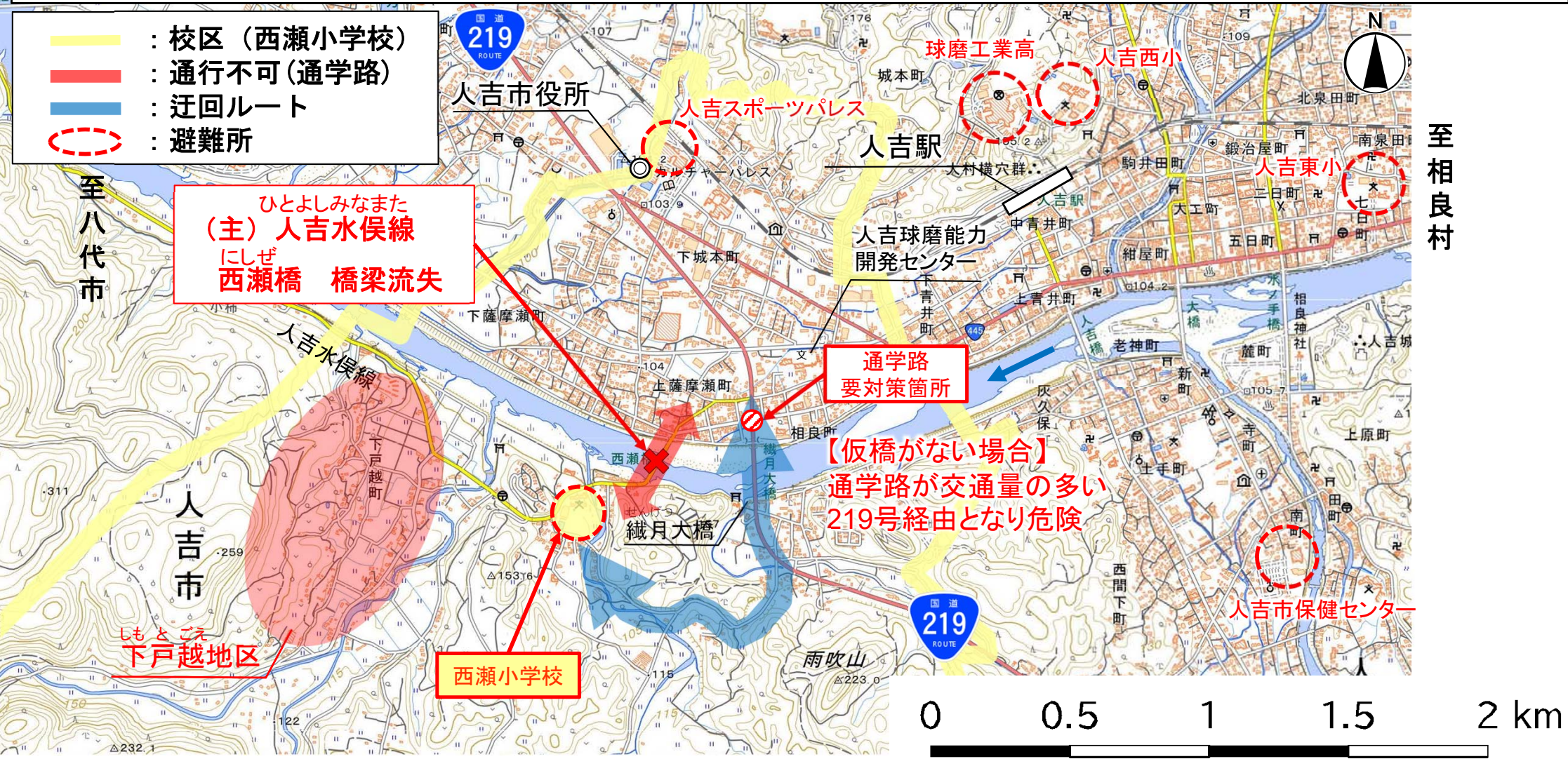


至相良村



ひとよしみなまた にしぜ ひとよし かみさつまぜまち
主要地方道 人吉水俣線 西瀬橋(熊本県人吉市上薩摩瀬町)

- 西瀬橋は西瀬小学校の通学路に指定されており、また、下戸越地区の方々にとって人吉市中心部へのアクセスのために必要な橋梁。
- 今回の被災により、通学路は交通量が多い国道219号(織月大橋)に迂回せざるを得ず、通学路要対策箇所もあり、危険な状況である。
- 緊急的に仮橋を設置することで、通学路など生活道路としての機能を確保。



(参考)応急組立橋

- 災害時における橋梁落下や被災道路の緊急復旧に使用
- 応急的に仮橋を架けて災害復旧資材、救援物資等の輸送路を確保

【橋梁諸元】

- ・形 式:組立式ワーレントラス橋
- ・支間長:16~40mまで4m毎
- ・幅 員:6.5m



▲九州技術事務所における仮組状況

▲国道220号 鹿児島県垂水市たるみず (深港橋)ふかみなと 設置状況
(H27.8~R1.12まで、4年4ヶ月使用)